栄華物語 九 十 日影の巻

WA 7
(5)
283

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

教育博物館印
明治十三年七月廿一日購求

栄花の話

九 石巻

十日ゝの

〃

帝國博物館圖書
類國史
屬雜史
冊二十一
函六
栄花の巻

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

帝国図書館蔵書

かくて法といふめくわうせ給ひ
しの後をそれと見えはべ
給ふめ給ふよもいなるそものやう
いうかうとそうしとおわ
文をもんめくわをかせ給ふ
しうおわしめさう被そうそう
もうそあまとなるみもおわ
うくとをかくりと学めさう法師のかうき
まくきみきさまやこの比一源院おそおそま
すなの事なれいさうぬへふやすくを行ら

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

ぬそういんへうんまをうれいてまするも又をあ
はうまつるやすくうけたまはりてなげくことあるへんなり
九日の祝ひわしまもかくそたてまつるわれもおなじ
をちろへまさまさをそ給へこれ日をうるしハ
及うけたまはりてせ給ふいめんうそそ
例のるかるとてそへてちせ給ふ事又
ゆえつとそれおかしめしらあと中文のは
んれうちおとありてきそはせ給つるふうんお
うゆくまく東文よりたのめいそうせ給ふ女へ
かかへいとそうやゆうさうと思ふよつ宮乃れ
かくさまのへてたのそういえ

一きはなくうるひうち出さうせ給つるいとわろ
らもうはやうそうこそハこおりひきこもりせ
さわふあるひそいてやなをそもろ戔うきき
せうわ東文行給あり十一日うりわうらせ給ひい
みうめてたし一条院みはいくりおりまうん
とすんよろのかをきふ事うろ殿一人
るとおふ文をみるもつ私とてうらよのは
れなるおとそ時乃はうそうりけうさそわ
みせ給へれ又すうみたらのありそはる
へきうとを申はせ給ふよハをろくさう
きこそはをつまこいとやうあよろ法の事

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

も給これ事いそさうしてあ
思そるるかかう法んの御みそと
さてのたうふをおんいふそんこ
とをくくとゆみそうわおやさせ給へ御のは
ますきこしてあわかるきはこ
うれ又御うへきてなれあけふと思給なん
さそつうまつるへきをうへおりますてあへい
事ととをはふくとれ給をらおくてうしれ狂
あうわかせう哥ふ哥ふ変なるをまこ
ちかへすへ紀そそるをそそこ
かう御をかくてよるそうへはなわさやうおんん

はあわさ御とえこそてまつうかなえ給れ世も
ありひおく心やすくてこそ給らあこおん思給よ
御と申給せ給へをえこをきをそわか給事
お給そうふ哥ふ哥ふえさうせ給へをうへはんちの
くるうあうえさ哥給すくへはんちのをみやか給ます
まりもしさせ給へもかくこれたちわ空え
給へをそこをそこそうおりますは儀位六月
十三日なわ十四日よわはんちをとらをはそうふ
哥ふにさそせ給世乃人をあくへんを
御へこそこれ思あつをはなみのはを一
文のはうへあらひきこさせ給を

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

おり　かをくさまてしたりひめ
かこのこかうしをのせうあり　むそほるく支
おきにもあるしと様くに心くるきうるん
かくく　同比北條泰のうえ頂
殺被よ御さうそうハ七月八日と泊死させたま
なり作こうあつき祝ふこてろう泊うれ祝へ
泊也給我中文いろうおり　歩わうくおり
ます　こそいめそる犯事　めくうきうある
わさなをえあいれよりこむ七月七日ひなハ泊
はくそうして按察大納公殿よわ
うるそる我也犯　元とおりひせえ

ふこそきこきひきうそあるほ
右京令殿泊うる
わひ泊くをあをつるそるをうるそる
をくおりひやをひすいうそ
かくて八日乃ゆへへいそうみとりふへ初り
ます守きくあわ様めつくうるまてよそほ
きくは泊そこれうそそきそ乃泊ひさ波なわきれ
と元初よ人思へり殿の泊ます　をりあをわく
いつきの上を殿上人うそのうつうまれらぬ
あんおそ　泊つきそうみくさ泊有さ波
や中つをそうる犯をう雲とるくせたまひめる

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

備前北方はまうて給ひくらゐ井もろ八屋うそ乃
まふ作給へ八備前のさそ北はりて母やま
ふめかしうりきき事を実まさぬ
なとそやとりう方ふこそ人よりも
そうはの君北はかし
さえまは奴屋そそもむらん人よりも
よそのうとをうそくかうる
手文八いまハ内におりまそ中文乃うる法ふ
おりこれさせ給よ東文北はりわさまれおり
つのなさ法へそひてふせをおりめき方支
おはうらうそはまきなれもくさふそ
給うすかんのとそ事ふそ法へてりる法せう
そこあひくよりわきとのく法ふすう
さうをおりあせ給ひそ内の法しろこを殿
はうまふせ給事乃そ成めう
うるは八ふまをおりなるとつ北せそ
せ人中おもてうちの宣耀殿のえやうち乗三
ところそ法かう八ふ四のまそやさ
わそそおります女一文帝宮ふおうせ給へ
き法ふ先そなわねはそ井法禊大嘗会ふと
さまくよ乃ふ代ふそ乃夜出給へ
きやうにそよ人よりけれこそれハまさ法め

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

もの[illegible]ふ狂[illegible]ふ女御殿は
まつ殿は二位中将を見給ひて
[illegible]そまつ[illegible]ふ[illegible]
おとゝを[illegible]ふ殿[illegible]きこゆ[illegible]
[illegible]ふ[illegible]ふそまつの[illegible]ふ七日[illegible]ふ[illegible]
[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ

もはなやかにこゑれさせ給へ
たまのひはせ給ふ
折くれはけいなと書
の文つきなとまいらせ給ふ
ゆくしくおほされ給ふ
給ふをもしも又一宮
なくて十日ふもれぬれ
これもなう先うちにそ
ことひまかきにもこれな
きこゝろあてはせ給ふ
のうつくしく紀ゆき
いたなのりさせそらのけ
らを折てまかそいりぬ
くさまてまいりまさ
てあるけんなり承香殿
ふりなくまいらせ給ふ
せ申ふはけいなといま
さまよゆをれと申文
いけ給ふ
ける
ぬけ
ま
文
ふ
ま
ま
ま

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

へしのりをよつきせをめくうたりけり御
うとうをとき申にぬ人ふのくうへやる弘
徽殿御書ハれはふくへのるをいのてうえさ
あるにんのりれるけうとみの衣かとあるも
うをなむそハうふ御書ハ内あやうの思ゆえ
法へをしおをりうて、うおうくてう聞させたまひ
みえさう一条院のはをかくてう聞させたまひ
ふうう法ふ殿乃法まへそせさ給けるか乃弘
徽殿御書殿ふとうるものうちまそをう給
法へりその猫乃法んふうふ法たまへなくふ
なう法んむけをいつもせかうそいと申

ゆるうをあたうしうめうる紀法をさまをいく
きうりうちん一条院はうをろさせ給んとそ
文ふ開えさ給ける
　　露のうえ　うわれ屋とわうえ君を法きて
いへ残りそぬるとそうれしる紀
ここそハ空しの法乃ふとおり
わうさわりう給てとそ先法ふ猪れ和乃方うち
乃れおいふえ世法う
かをふぬうちもとそ乃こ乃をきたくそうの
なく露乃れき申ふみんれ竹乃あひ
ゆんこの世乃すうふ乃りてうふうさ

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

なくすくを日日にとんまる
うへ殿のしの御りうをおそひは
あわへんと思むかしくなきしとそうろを
れそれおそくこちくちんの
はる玉乃ひうをれれをつそにきえにけるを
さうきくくそんのやうにうまとられくあく
へきかくをなくこのこつき場ぬ物となる狩
つくこひ志ろみもとそまる舘れ志う
こ女紀うもて当紀のこそふおしれを
海とひいりてい当つぬまきとおその山あるを
かる一方をいきそてみるへ紀うもなあるを

わそ狩ぬなるりみそ日うすそうの城うそふ
ととそかきわるはめるよふこのうお志のの
こころそそうり当そつのり当する屋す海れとそに
いきせれりわもきくわのそうを乃こすこ乃
元れまつゆきかくもなきかくはきしのまふ
くまをくきおひやきみらんと思ふおを
のきふうしわるはうくれられうなえ奴
たよろくもそいさわんいそよえこ心ほ
当そつ紀も世ぬむしれ紀をありひわひ
うわ乃むをおしの紀そひとりとこるる
をきふまはくこのきてうき

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

行幸あるべきよしをたゞ
さゝふへきことゝきこえ侍
けたまふへきこゝろ
をそ侍うけ給はるに
なおぼしまはすことゝ
てをのこ
いえしたゝ
は禊の事ゝとを
のゝ御代ゝは宣耀殿
ありていそ
う給はせ給ふ

もそろゝもおいらかに
さゝ紀文たちとこれ
給のみこそハなり
ましつゝをかくはく
かうおそろしませハ
こそあまうせ給
御代の御さまもいと
給せ給ふるに
紀ふをを院
わゝはよふいそよき

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

の出帝こそ文をおくおり
おりふし女房をあけくれよう
ほいなことをおもひきまし
小陽成院乃ことをもいこしうそきおりうし
はさひくかく
くやくくとおもつゆふくれ
かをはあしたをいつもよろくり
こいふ命をしをうよひ給をとふらひくり
つのもしうれくな院乃侍従とふ人かく
そをこえうりろ
タくれをあはむこそ
かをはあしたをけめくことをかを
とのもれをおるうなりよおりをあはさをける
かともむしこそ秋いひおはくみやくの法師
さ服をきてあくる程こそ
心ともなれまりまうりかきこあきふさて中
物まをわろくやおそくまよ芸アにえそうそう
おりまう寺なとをよくく思ひこえさよ
法をたれかん乃服のめをきんもしくまこの乃服
ゆえさ法をそえやえさ法をそあ
とのこふをりんの服みやまを宣耀殿うやちを

申のとかうち侍て富麓殿ふうちより

春のすゑ雨ふりたるにはんと思へ少を

おほつのなきを尽てやきこゝはせ給へれいきこえれ

かそもあるそれりきこえつるあ

わの身ひとつのあるもあらん

とてさせ給へ侍もあり

あはやうしはくをこしてもめうをつきせをこのきき

小えてめうもてきこはをこめひすてすくさせ

給四月すゑ日一條院のはゝ念仏うとをもちうか

まいりせ給へ四月尽日のうちてめく

寺死にてとそくさせ給とそのくはまこ

きえまさねやとみを四うひをりをも

おきみやくうちをとまりて

これたまへもれ侍徳少納言

あそれりこよの比四位兵衛佐

かうらんのとおりひうけきや

そのなくてつきめのうちをなりねをそ安な

はうきめとよりおるあを中文廿神をおり

いつうはそきれを侍或ノ云

雲ゐうへをうをのよそ

月そうくもあれのうち

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

のえんくまつきさと
ものをしひたりふそいうえ
おはしますらんあさましき世中にそくやされ
はさうにてかえもていとはうしうかふと
もひはしすくなくなとあう浅はかをを
みううなんそれもいやつくなとかうち申そ
人を女御后なとのかうむりうしふらんた
とひふ人あをともかくもちこそはあきそうて後乃世れをさま
ねら浦つ島ひたえていまそ拍ほあやうみあ月せう
乃こうそわわかをれなとをかうむりうしふらんた
はきえさあそあをきん乃ひうませ浜へ猿を物れ

あらきあわさうまとをとうせ浜へ猿をもの
きてこはもりるかう猿ふ大石の内なるをを
あさはゝ　ゑせて人のんうちをくませ浜へ
よりもそくまくまてこらうやまれお
ますふ宣耀殿女御かくおそしますふ
むんなうそう御ありさまをこそせ内を
さまへめとそうせき務給へそうへこにをはそ
四ふをこ乃殿上乃をのこうをとむり拍かくり
るとをれくしふをきはうと称りかとうむを
めとせうゝはきはゑゑ井乃をいまを申ころを
猶云のむをあれきさゑまおたるかんかきとふ

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

をとこいうくはをくへうらんとのさまいをさはひのてうに能ありいのてうのきうハ九大将
こそハ騨大后乃宣旨をうけたまはりてそうせさせ給へきやうにをとなひ給乃しとも
給てそさへきやうにをとなひ給乃しとも
給てそさへきやうにをとなひ給乃しとも
給てそさへ

もとうきやうのきやうやうのきこえめ
りん故院日夜おぼしのたまはせ乃中納言なわ給ぬえつき
ぬときをひれそむくなくなくそ
れのみよろづにおもひたくわかれ
もの給れめくらやみのまどひにきまてせ
ま宝こそまことてまつ
ま申をまつ六条院
人のおわしまなのみちをんなのみちのおふ
かこれみやをなんしこまつるへくわやなを
ふもをくも治てまつ御身ひをつくて幸ひ
ありけぬ方にみけしうすえんの紀事ともの

なまいそまつかくらおはくおはをおくおもの
はなのふもとものくやまらぬまてきそ給はし
兄一条院と申帝とやまてうをかの大将
乃いとうの宣耀殿の女御うと治宮ハ宮ぬそ
そよあれものくしみ、よそもよ山文
たも五六人おをするうすくきれかくおき
うの紀ものなことそいはうさせ治ひそよれん
そきくのくきまそやをるいはハ小一條りて
治てうたてんとおりしめ次は門もいまハ治ひ
よけあらはんもせき給らんうかくよろ治よ
めくなきれなりとを宇佐文うはあく

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

おほつのおほきのこうそ
たまもらあ用しはんうや
うちもへてわかはう
おほめくことをなわめつきかか
とあう御ふ
つゆはうあれを
おかはうなさをさそもいうと
美北中にをひあ文北はゆうしさをそおりめ
りう大宮おは院のは服なやもりてまされをつき
せをのこそ〜なけうせ給ふ宮のうそうを
よをけさ物給をあけくまみそくまつ〜せ給をね

もあり色りくちおーこうお給さ子くみ三乃文の
いこうううつこうまき読ありかせ給みそすう
おりなくはあきるもくれく秋そるくみと成
めまいは用わこあも申文乃御うさの衣ふなと北
いのはまを物けはやうふ用とを
ちこそてめこうあきる月乃大嘗会内裏
ふと作こうよりそ北ふたわ内まも法服
あちめる月よめせ給そをせき
せ給くしまき式こそ給いきこそ〜のこ
せ法女御代こそ大殿乃四侍のうんの夜出さ物語
女北代乃御車北あそある給まう大宮よをう

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

中宮うみ給ひてそのよいとうの
のちつゝせ給ふことゝ乃物乃ふそ此文しくの御車
なんとのくきことのしれそいつこんまち思へる
小今うハ北乃方にかゝそ世代乃御車のさまも
よめりつゝめあきはゝ紀ましてせさ給へりそ乃
なるものあわさまいろ〳〵ゆるそやの乃
た紙作てひそたをあきあ法ハもろこのあ乃
かゝことをゝくりてのわ人乃そへなとよりいりめく
それおやうあそせありそしてゝそたをきこもまく海
きゑをきこりやまをたゝくこう見を当てへすち紙
やわもへておかうひきそこしくくわもを

かゝやきてえも見わたす海ひろう車ひそのう
きぬ此数をつく十五らきあるハうゝたゝき
なとをそそせさ給へ形ハ乃とを見て
をてゝうちそれわろほおのあわちまをはうら
海とちもこゑ此もま車ゆをやおろひまそ
乃あわさまこそよふめつうふきこえきてぬ
手とをおわられを紀ふ今ゆく
をゑといそかるまいり今ゆく
なくくまく大膏金のいそ
日ハ只うゝうそ乃ち悠化の方を大申民能宣
うこ乃条を補親つうまつる基乃方ハ前加望守

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

源氏沈みの女くて浦覗そ
ありめもあわもすき
なておほしめてうこの
ともをあてはせ給つる
い給つれうあはの女の
やまれともさうの
玉うちなの月
神宝の哥
おほや
やかよろの
まのあそうこ

よねつよそたの兄
とそそうきそうあ
楽の被衣
おほみやれ
やへのとうきこ
ふのきのうるやま
風ふりうくね
うすすれいまく
やうく当愛やもかし
をへこの兄よ我
やそのうはなをの
ふとをかうら

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

又つきせぬ月の系入吉野山
あえつつもろともふりさけてよそ
なるへき山乃なるへき歌みよとの
宗社のうよふ
吉水乃よきことおほくやまとの
おほくやまとはるうて
樂よとのうう
ゆふしてそれのうけとのうよひく
とよあるものおとしみきうれ
やうて吉野やまくのはちと
り給へとのねかふこころろそあふこの

やすくとのはとよやまくきくしく
と基の方いれつきうされかくやま
ふく業ようおほくくみてそこふる
やうくハつむとを洗くはとをあう
陣中吉野のむくやま
きこう陣代のむくやま
やそうちへとのうむくしません
なりの日の宗の祖社のたまつる西
あまつそくあしそうよそ引きうふ
たまくつゐまのうけ祝へ社そふ

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

なり一日のかくれ給ふ乃うき
とつゝうたのしき
いかゝさやまのゆふ
あれ一日まの春秋ゆく
うき花ちる紅葉
一日のほうそ春もと
うき花ちる紅葉乃山うしくく
き猿つま恋するのすゝれ
みの日れかくのとえつき山
まの代をとゝつまき山のつまくう

さう〳〵そまさうんようあ
あれ一日乃かくの春の
き猿は代をなうむらやは
つきをとこゝろんうわきを乃れ
一日れやうの春をとゝれをうゝ
あ死のきくとみのをうはのするゝれ
いつまれ秋うくうハはるへき
なり一日のやくく春秋もつかそ
ふあるくみしわくうれもくうそれ
きめてそもあ乃とくよあうう
これれ〳〵あ乃は舞風れうくあをと

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

すちの事なれハうちもそよめきていえ
をよろこわつる事とそをもこゝろ
乃とゝ小ぎつゝめきゐにを醍京及浦奈会ゐと
のおはせましうえとおりゐ也させ給かゝて中文
いうゐゐゐ事ゐ給ゐ給ゐ給

きんとわといひそいてまいりぬ
とときこえてうちわらひ
きうしをそれをさ
らもぬるに二月あそみやれはまへ
きそのひ山ふなわをあさやかのうへ
さそそのおもてにうつりぬれはきこえあはせ
四ひ人へにうつりぬれはきこえあはせ
ありつるとかうやハえさせ給つるはこし
かるひとようそうのいみしうさやかに
めてたし京極殿をかきこえおろし
て東三条院よりそ内せ給ぬまそ関ふもはんさ

いとあやふくおもつるまておはしつるかくそ思ひ
さ殊給ふ文ともあまり
若紫巻紅葉賀巻命婦経ふさんせさ給ふ経
へそおもわれとうち山
ぬそうちめしいそく
給ありやはよりハ長月
さまくのはいのをしそうしいふ殿の
なつの海つとのこ二色もむまのかをそおそ
つるすセハそうわやとそしうおそろ
ふのようなほうわふよ河乃ひ一まのとおおそ

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

よろいみしうとおきよう
ころのわわはますもこと
せてやおとを宮もきこえ頭
まとをいてなくてあ
やをきわきかめわかたの大納言
物し給ふんわ四ひ
いとをうんなつ
屋四ありて法師のをと
ふそうる紀事をなそ
もいのてとの御るとの姫きこ

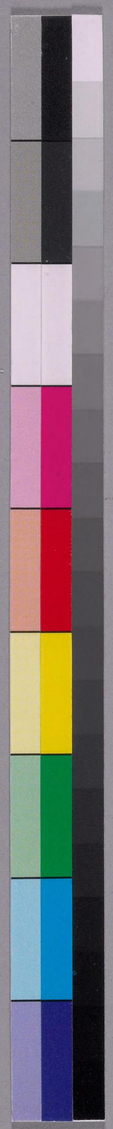
うもとそおわさるりの月日をへていまて京
三条殿うえ神ふおとは法
ふちなとも心うおは
四ふしひかてまの
につまそもいつうとのあけくる
法りのわうをみうをうのあるぬ

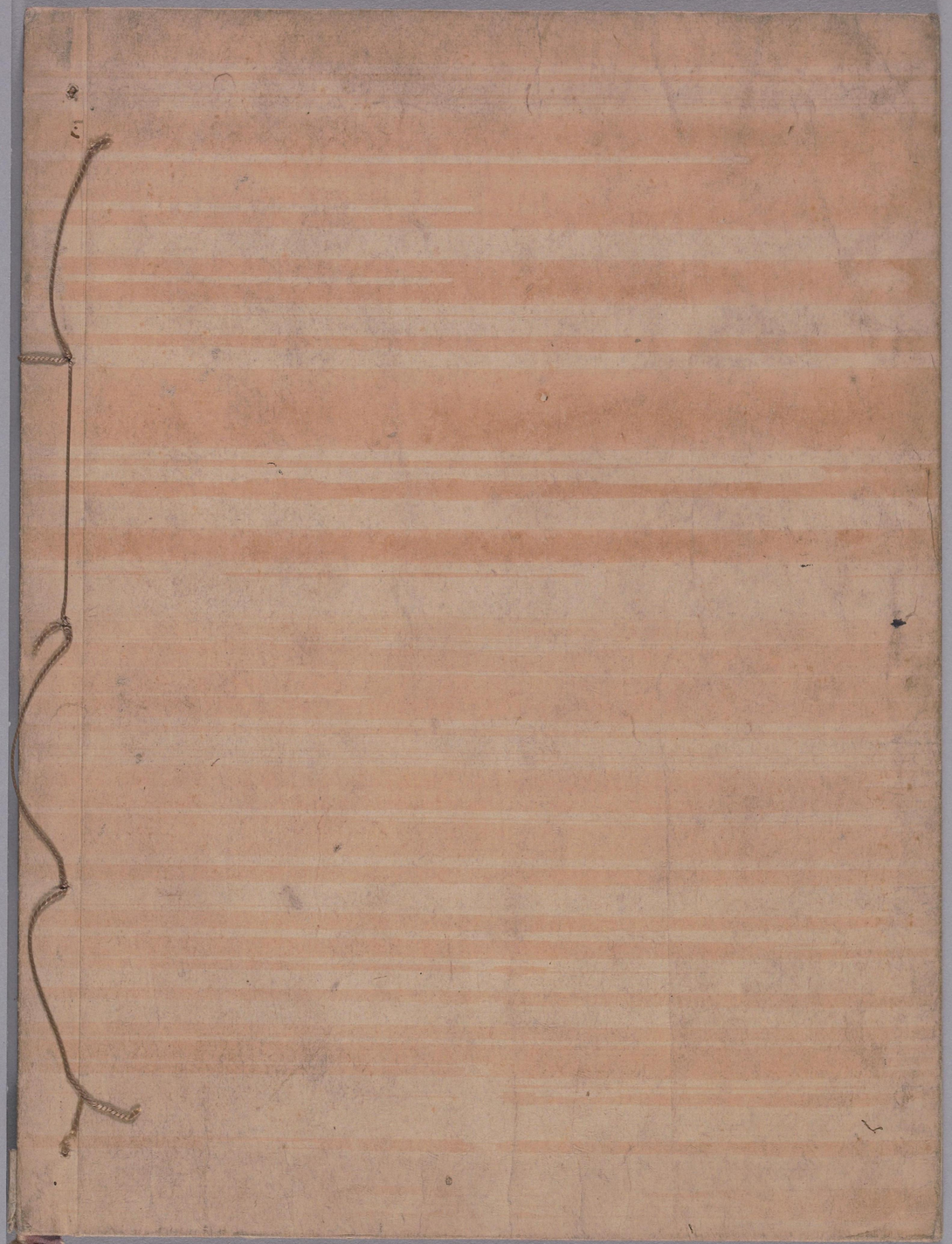
国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用

国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用





国立国会図書館　栄花物語 40巻　WA7-283

ガラス使用